静岡県公立高等学校 PTA 連合会

会報

令和８(2026)１.15
NO.151

〒420-0853　静岡市葵区追手町３番11号　しずおか焼津信用金庫追手町ビル６階　TEL：054-255-4678　FAX：054-255-4699
URL　https://www.hs-pta-shizuoka.net/　　E-mail post@hs-pta-shizuoka.net

年頭のごあいさつ

あけましておめでとうございます。会長・副会長からの年頭あいさつです。本年もよろしくお願いいたします。

■会　長　**住吉　明**
（静岡農業高校　顧問）

日ごろより、高Ｐ連にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年は六月に本県で「東海地区高等学校ＰＴＡ連合会大会」、八月に「第七十四回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会」が三重県で開催され、多くの方々が集い、講演・保護者同士の交流を通して教育課題や子どもとの関わり方など多くを学ぶことができました。

昨今、いじめ問題、心のケアの必要性、ＩＣＴ教育、生成ＡＩの登場など、子どもを取り巻く環境は複雑さを増しています。こうした時代だからこそ、ＰＴＡが果たすべき役割をあらためて見つめ直す必要があります。ＰＴＡとは何のために、誰のためにあるのか。その活動の原点である「子どもの幸せ」の実現に立ち返り、「家庭・学校・地域」が手を取り合って、子どもの健やかな成長を支える活動を共に進め、子どもたちに誇れる地域社会を築いていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

■副会長　**杉山　大一**
（韮山高校　相談役）

副会長の拝命を受け、早くも一年と半年が過ぎようとしております。振り返って見ると、総会から始まり東海大会、全国大会とあっという間でした。その中で切に感じる事は、急激な生徒の減少に伴う、単位ＰＴＡの維持と活性化をどう図るかが、やはり最大の課題だということです。会員の皆様と共に常に生徒の為にを念頭に置き、知恵を出し合い今後のＰＴＡ活動に繋げていけたらと思います。

■副会長　**河田憲一郎**
（沼津工業高校　参与）

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

私の高校時代を振り返ると、まず思い出すのは毎日片道三十分の自転車通学です。雨の日も風の日もペダルを踏み続け、気がつけば体力だけはつきました。

人生に必要なのは体力と行動、あと人生の岐路で出会った恩師の存在が、自分を大きく変えてきたと実感しています。私が先生方にお願いしたいのは、国語や数学といった科目以上に、人生全般にわたって影響を残す「恩師の心に刻まれる言葉」を与えてほしいことです。この出会いこそが、若い人の未来を切り拓くと感じます。

■副会長　**山本　泰三**
（清水桜が丘高校　顧問）

今年度も県中部地区のＰＴＡ指導者研修会の他、三重県での全国大会、地元開催となった東海地区静岡大会と様々な会議や講演会に参加させていただきました。

最近ＰＴＡ活動にはネガティブなイメージが付き纏っていますが、活動の内側に身を置くと、確かに生活の一部を犠牲にする側面も若干ありますが、一方で犠牲を補って余りある充実感が味わえます。長い人生のたった三年。人脈を広め、知見を広め、未来ある高校生たちの成長を間近で見守る活動に、これからもたくさんの方々が携わって下さることを期待しております。

■副会長　**原　拓也**
（浜松北高校　顧問）

新年おめでとうございます。

二期目となった今年度は、三重の全国大会での熱気に圧倒され、地元静岡で開催された東海大会では運営に参加し、各地区研修会では地区ごとの特色ある学びに接するなど、大変貴重な経験を積むことができました。

本年も微力ながら、更なるＰＴＡ活動の発展に尽力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

Contents 目次

年頭のごあいさつ ……1
全国高Ｐ連大会三重大会報告 ……2
地区ＰＴＡ指導者研修会 ……3
高校生善行表彰・ ……3～4
学校紹介・単位ＰＴＡ紹介
　静岡県立御殿場南高等学校 ……5
　静岡県立清流館高等学校 ……5
　静岡県立浜松西高等学校・中等部 ……6
　静岡県立天竜特別支援学校 ……6
「社会総がかりの教育の推進」 ……7
「進学時の支援制度について」（奨学金等）……7
安全振興会事業紹介・令和８年度予定 ……8

全国高Ｐ連大会三重大会報告

全国高Ｐ連大会三重大会は、八月二十一日（木）・二十二日（金）に、津市産業・スポーツセンター内の日硝ハイウェイアリーナなどで開催されました。昨年度までと異なり、大会はすべて同じ場所で行われたため、移動に費やす時間が大幅にカットされ、さらに初めてＱＲコードが使われたことで、円滑な会場入りとなりました。当日はキッチンカーや地元高校生による多くの物産店が集まり、全国からの参加者も加わって会場はとてもにぎやかで、活気に溢れていました。今年の大会テーマは、「出会いはじまる常若のくに～『集い、思い、継なぐ』三つの重なる明日への力」でした。参加者数は、役員・委員を含めて総数五七〇二人（アーカイブ視聴二四〇校）、本県からは二五七人（全国四位）、アーカイブ視聴を含めて八十六校の参加をいただきました。

高校生によるにぎやかな呼び込み

本会が企画した県独自ツアーでは、四日市市を宿泊場所とし、津市の会場まで貸切バスで往復しました。一日目は、最初にアトラクションの三重県立四日市商業高等学校のギター・マンドリン部の演奏を聴き、その後の開会式で小野大会実行委員長のあいさつ、田名部全国高Ｐ連会長の式辞、さらに文部科学大臣（代読）・三重県知事・津市長からの祝辞が続き、次の表彰式では、本県からも後述の団体及び個人が功績や活動を称えられ表彰を受けました。

全体での会の終了後、参加者は事前に登録した分科会に分かれ、子育て・親育て・コミュニケーションなどをテーマにした第一分科会、子どもたちが実力を発揮するコツをテーマにした第二分科会、ＡＩ時代におけるキャリアデザインをテーマにした第三分科会、これからのＰＴＡ活動を考える第四分科会など、それぞれ個性的な講師の話を聞きながら学びを深めました。

また、恒例の静岡県高Ｐ連情報交換会も一日目の夜に開催され、県内表彰者のご披露と代表者あいさつの後、地区、学校、教職員、保護者など立場を超えて場を共有することで、ＰＴＡ活動や教育活動の在り方、子育ての素晴らしさや悩みなど、参加者同士で本音を語り交流ができました。

全国高Ｐ連会長表彰（個人）　敬称略

〇住吉　明

（本会会長、県立静岡農業高等学校所属）

表彰される住吉会長

静岡県の農業教育の中心校において、単位ＰＴＡ会長・副会長を二年間務め、コロナ禍にあっても学校側と保護者の橋渡し役を確実にこなした。また、本県及び東海地区連合会の役職を積極的に引き受け、活躍している。

全国高Ｐ連会長表彰（団体）

〇静岡県立磐田西高等学校ＰＴＡ

（会長　川島　隆　様）

令和のＰＴＡを指向し、書面やオンラインを効果的に併用した意思疎通の緊密化と、各種委員会によるＰＴＡ活動や研修会の実施と周知をはかり、学校・地域・家庭が心地よい継続的な関係性を構築できるよう活動した。

〇静岡県立富士特別支援学校

（会長　畔柳　環　様）

あいさつをする畔柳会長

会員同士のつながりを増やすため、先輩保護者の話を聞く座談会や、保護者のためのお話会などを計画・実施している。福祉避難所が開設される時に保護者が自主的に活動できるよう、教員と共に開設訓練を推進している。

二日目は、最初に三重県立相可高等学校放送部が作成した、同校食物調理科の映像がアトラクションとして流されました。この中で紹介された「まごの店」は、同校が地元多気町にオープンさせ、「地産地消～地域と相可高校生の協働」をテーマに、仕入れ、接客、販売、経理まで高校生だけで行う研修施設であり、日本で最初の「高校生レストラン」としてドラマ化もされています。

続いて、井村屋株式会社代表取締役会長の中島 伸子氏による記念講演が行われました。講演内容については後述します。その後、閉会式が挙行され、二日間の大会日程は幕を閉じました。来年度大会は、大分県が開催地となり、その概要については本紙最終頁に掲載します。遠方ではありますが、多くの皆さまのご参加をお願いいたします。

【記念講演】

演題「『尊厳は明日の力』

～壁を開ける手中の鍵～」

講師　中島 伸子 氏

（井村屋株式会社 代表取締役会長）

広い会場を埋め尽くす参加者

令和六年度だけで、三億二千九百万本を売り上げた大ヒット商品「あずきバー」を持つ井村屋（株）で、中島氏は、アルバイトから正規採用となり、社内要職を歴任し、経営の最前線で活躍されている人物です。氏は、学校教員を目指していた大学生の頃、死者三十名、負傷者七百名を出した北陸トンネル火災の大惨事に巻き込まれ、人生が変わったそうです。事故の時、たまたま列車内で向かいあって座っていた、見ず知らずの三人の子連れの母親が、自分が動けなくなってしまい、中島氏は五歳の子を託され、真っ暗なトンネルの中で、その子と手をつなぎ必死に逃げました。結局極限状況の中ではぐれて気を失い、自分だけが最後の生存者として救出されたそうです。今でも夢に見る辛い経験が大きなトラウマとなり、加えて事故で喉を痛めてしまい、当時めざしていた教師の仕事は無理と医師に宣告されたこともあり、奇跡的に救出されながらも、中島氏は一時生きる意欲を失ってしまいました。そうしたどん底にあった時、力を与えてくれたのが、「あなたは生かしてもらった。

辛いに一つ棒を加えれば幸せになるよ」という父親からの言葉だったそうです。

こうした経験から、中島氏は自らの経営理念は、人に焦点を当て、競争ではなく共同、一人の百歩より百人の一歩、どの人も必ず良い面を持つと信じ、働く人を分け隔てしない会社づくりであると語られました。たくさんの人を前にした講演で、辛い記憶を思い出し、時折目頭を押さえて話りかけた中島氏は、三人の子どもたちを慈しみ育ててきた母親でもあります。講演の最後に、子どもは世界の宝、ありがとうは幸せを呼び込む魔法の言葉など、やさしいメッセージをたくさんいただきました。

地区ＰＴＡ指導者研修会

県下十地区と特別支援学校ＰＴＡ連合会が主催する「地区ＰＴＡ指導者研修会」が、六月から十月にかけて、各地区で開催されました（詳細は実施一覧。なお、特別支援学校は一月二十四日（土）にあざれあで講演会実施予定）。

子どもたちの健康を支える食生活とは、悩みへの支援や心の成長のために保護者は何ができるか、子どもたちの自己肯定感の育み方、家族団らんの作り方など、身近な「子育て・教育」に係わる研修内容の一方、ものづくりと地域社会、多様性への考察、講師の考え方や生き方を学ぶ講演会など、各地区がバラエティに富んだ学びを展開し、全県で計一一〇〇人を超える会員の方々にご参加いただきました。各地区世話人校や研修担当校のみなさま、企画から準備、当日の運営までありがとうございました。

高Ｐ連では、今年度末も報告書を刊行し、各加盟校への配布を予定しています。他の地区の研修内容を知り、自校や地区の研修の企画づくりのために、有効に活用していただけるようお願いします。

令和７年度静岡県公立高等学校ＰＴＡ連合会　地区ＰＴＡ指導者研修会（実施一覧）

地区名（世話人校）	日時・会場 参加者数	研修テーマ・講演テーマなど
賀　茂（下田高校）	７月３日（木）13：30～ 松崎高校　55名	研修テーマ「毎日のごはんが力になる！高校生の食事のコツ～スポーツ栄養を中心に～」 講師　石井浩子氏（管理栄養士）
三島・田方（韮山高校）	７月２日（水）13:30～ 韮山文化センター　97名	研修テーマ「高校生の相談から見えてくるもの」 講師　三須友恵氏（特定非営利活動法人　臨床心理オフィスBeサポート　臨床心理士・公認心理師）
沼津・駿東（沼津工業高校）	７月３日（木）13:00～ 沼津市立図書館　100名	研修テーマ「伝統と挑戦～創業百年 ものづくり企業が考える地域社会との繋がり～」 講師　山本　陵氏（山本被服株式会社　代表取締役社長） 県総会・東海大会報告　沼津東高校・御殿場高校
富士・富士宮（富士市立高校）	９月19日（金）14:00～ ロゼシアター　209名	研修テーマ「自己肯定感と行動変容を育む『できたことノート実　践講座』」 講師　永谷　研氏（株式会社ネットマン　代表取締役社長） 活動発表①「課題解決型のPTAの試み」富士高校 活動発表②「PTA活動の問題点と解決方法について」富岳館高校
清　水（清水東高校）	９月５日（金）14:30～ 清水テルサ　50名	研修テーマ「サッカー人生50年　夢と挫折と～今みなさんに伝えたいこと～」 講師　武田修宏氏（サッカー元日本代表　スポーツコメンテーター　タレント）
静　岡（静岡高校）	10月11日（土）13:30～ 静岡労政会館　102名	研修テーマ「大人と子どものやる気をひきだすコミュニケーション」 講師　海原純子氏（心療内科医）
志太・榛原（島田工業高校）	７月１日（火）13:00～ 焼津文化センター　小ホール　214名	研修テーマ（第1部）「一流の習慣術～世界のイチローの目標達　成術～」 （第２部）「一流の指導者から学んだ人材育成」 講師　奥村幸治氏（ベースボールスピリッツ　代表）
掛　川（小笠高校）	７月４日（金）14:00～ ふじのくに茶の都ミュージアム　63名	研修テーマ「お茶がつなぐ家族のだんらん」 講師　戸塚彩子氏（日本茶インストラクター） 施設見学　ふじのくに茶の都ミュージアム見学
磐　田（磐田農業高校）	７月24日（木）13:30～ ワークピア磐田　115名	研修テーマ「誇り高く生きるための心の根っこづくり～大人になる高　校生に知ってほしいことと保護者ができること～」 講師　塩崎明子氏（命つながる家系図（株）みそら　代表取締役） 県総会・東海大会報告　磐田北高校
浜　松（浜松工業高校）	６月13日（金）14:00～ 浜松呉竹荘　100名	研修テーマ「多様性（Diversity）が問いかける日本の教育課題　～アメリカの教育研究・実践における『特権』概念から考える～」 講師　渋谷　恵氏（明治学院大学心理学部　教育発達学科） 分科会「ＰＴＡ活動再考～今とこれからを語ろう～」 情報交換会
特別支援（静岡聴覚特支）	６月７日（土）14:30～ あざれあ　総会　63名	総会 特別支援学校PTA連合会の事業案や予算案の報告、承認 県教育委員会特別支援教育課による所管事項説明を実施

参加者　計1,168名（全県）

きみのやさしさに　ありがとう　高校生善行表彰

高校生善行表彰選考委員会は十月十五日に開催されました。一件ずつ慎重審議して受賞を決定しました。委員会終了後の振り返りでは、「高齢者や熱中症の方への支援など、高齢化や猛暑といった世相を反映している」「授業や課外学習、県安全振興会の助成による研修会などの成果を活かし、ＡＥＤや熱中症対策を的確に行う姿が頼もしい」「困っている児童などへの支援は犯罪を未然に防止する行為にもつながる」など、高校生の善意にとても感心したといった感想が多く聞かれました。受賞者には本会から賞状と記念品を所属校に送付し、各校での表彰をお願いしました。

本年度の追加推薦は、令和八年一月二十六日（月）が〆切となります。詳しくは本会のホームページをご覧ください。

受賞数　十月十五日現在　※（　）内は昨年度

個人の部　十七校三十四人（十四校三十七人）
団体の部　一校一団体（四校五団体）

【個人の部】

静岡県立静岡高等学校

三年生　水野　真琴　さん

令和七年二月五日午後三時頃、静岡市葵区城東町において自転車で転倒した年輩女性を目撃して、すぐに駆け付け手を添えて身体を支え、温かな声かけで励まし救助・介抱にあたった。

静岡県立浜名高等学校

二年生　山田　悠真　さん
二年生　亀岡　瑚羽　さん

令和七年二月十四日午後五時頃、遠鉄電車西鹿島駅において、気分が悪くなり意識を失いかけていた女性を介抱し、女性の夫が到着するまで付き添い続けた。

二年生　服部　七音　さん
二年生　山本　ダイゴさん

令和七年四月二十一日午前七時四十五分頃、路上で転倒し手首を骨折して泣いている小学生を目撃し、すぐに駆け寄り声をかけて介抱し、家まで付き添い送り届けた。

静岡県立浜松湖東高等学校

二年生　伊藤　諒芽　さん
二年生　安田　康太朗　さん

令和七年四月十一日午後四時半頃、浜松市中央区伊左地町において、自動車の単独事故を目撃し、緊急通報をした上で警察からの質問等にも的確に答えるなど、事故対応を冷静に行った。

二年生　丸井　大翔　さん

令和七年四月十七日夕方、浜松市中

央区初生町において、自動車事故に遭遇し、乗車していた外国籍の方の話を聞き、警察に説明をしながら状況が落ち着くまで寄り添った。

二年生　鈴木　悠斗　さん

令和七年六月五日午後五時半頃、浜松市中央区高丘交番付近で、定期券を失くしてバスに乗れず立ちすくんで泣いていた小学生を見かけて声をかけ、気持ちをなだめて一緒に母親を待った。

三年生　恩田　みらい　さん

令和七年五月十六日午後七時半頃、浜松市中央区葵西の路上において、シニアカーの車輪が溝にはまり身動きがとれない状態で困惑している高齢男性を目撃し、落ち着かせながら救助し、帰宅を支援した。

静岡県立浜松工業高等学校

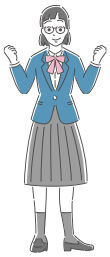
二年生　弓桁　陽太　さん
一年生　柴田　琉生　さん

令和七年七月十八日下校中に、浜松市中央区小豆餅において、座り込んでいる高齢男性を目撃し、ペットボトルの水を飲ませ日傘で日陰をつくり、救急車が来るまで高齢者を介抱した。

静岡県立湖西高等学校

三年生　鈴木　琺未　さん
三年生　川村　莉欧那　さん
三年生　田中　ゆりあ　さん

令和七年五月二十日午前八時頃、ＪＲ高塚駅において、体調不良によりふらつきながらホームや階段を歩いている女性を目撃し、声を掛け警察に通報し保護につなげた。



静岡県立科学技術高等学校

二年生　長嶋　琉伊　さん

令和七年七月八日朝、通学中に静岡市内柚木の地下道において、自転車で前方を走っていた高校生が転んで頭を打った様子を目撃し、止血処理やその後の対応を行い、救急搬送されるまで寄り添った。

静岡県立駿河総合高等学校

三年生　大川　実苑　さん
三年生　樋守　芽里衣　さん

令和七年六月十七日午後四時頃、静岡大橋付近で倒れていた高齢女性を熱中症と判断し、身体を支え近くで買ってきた飲料水や氷をあてがい、救急車や警察が到着するまで声をかけ励まし続けた。

静岡県立掛川東高等学校

一年生　鈴木　煌生　さん
一年生　土代　悠人　さん
一年生　森田　一生　さん

令和七年七月二十日午後六時頃、森町の商業施設で三歳の子が売り場のたくさんの商品を散乱させていたため、一人が抱き上げてあやし、他の二人が商品を元の場所に戻し事態を収拾させ、家族から感謝された。

静岡県立掛川工業高等学校

一年生　草賀　櫻介　さん
一年生　佐藤　哩久　さん
一年生　髙野　利瑛　さん

令和七年四月九日午前八時頃、掛川駅の北側において、横断歩道を渡りきれず困っていた白杖を持った高齢男性を、自転車から降りて手を引いて誘導し安全な横断をサポートした。

三年生　浅井　秀喜さん

令和七年七月二十九日十時頃、掛川市細田において、熱中症で路上にうずくまった高齢女性を日陰の風通しの良い場所に移し、首筋を冷やした上で近隣住民に水分補給及び救急連絡を依頼した。

静岡県立伊豆伊東高等学校

二年生　水山　博翔　さん

令和七年七月三十一日、伊豆急川奈駅で倒れた高齢者を目撃し、自分の乗車を見合わせ駅員に連絡した上で、周囲の乗客とベンチに運び上げて安全を確保して、救急隊に搬送されるまで付き添った。

静岡県立相良高等学校

三年生　中村　穂乃花　さん

学校のＳＣＨ活動に三年間で累計十八回参加し、清掃活動だけでなく地域の問題を話し合うプロジェクトや小さな子供と関わるボランティアなど、様々な取組に積極的に活動した。

静岡県立遠江総合高等学校

三年生　藤原　未悠　さん

令和七年八月二十三日午後二時頃、家族で訪れた海岸で、他人のカバンを物色する不審者を目撃し、証拠として犯行の一部始終を撮影し通報することで、犯人逮捕と被害拡大の未然防止につなげた。

静岡県立御殿場高等学校

二年生　大道　一花　さん

令和七年八月、自宅付近で認知症の高齢女性の介抱と救急隊への連絡、市内商業施設で段差を上がれずにいた車いすの女性の介助と、二度にわたって困った立場の人を支援した。

静岡市立清水桜が丘高等学校

三年生　山本　健心　さん

令和七年八月十二日午後五時頃、静岡市の商業施設で意識を失って倒れている方を目撃し、救命講習で使い方を学んだＡＥＤを用いて救助にあたり、救急隊員へ救援を引き継いだ。

静岡県立伊豆中央高等学校校

二年生　遠藤　華恋　さん

令和七年八月二十二日午後一時頃、路上にうずくまる熱中症の高齢女性を目撃し、涼しい木陰に移動させ介抱するとともに、女性の様子を観察し、状況説明をして救急隊員に引き継いだ。

静岡県立浜松大平台高等学校

二年生　芳賀　悠太郎　さん

令和七年九月八日午前七時三十分頃、登校中に浜松学芸高校付近で倒れている高齢女性を目撃し、本人に様子を聞き介抱しながら周囲に助けを求め、通行人に救急車を手配してもらった。

静岡県立磐田西高等学校

三年生　鈴木　麗菜　さん
三年生　山下　恵実　さん

令和七年四月十八日午前八時十分頃、学校近くの道路で迷子になった小学一年生の児童を目撃し、声をかけて小学校まで歩いて付き添い、校門にいた小学校の先生に事情を話し引き渡した。

【団体の部】

静岡県立掛川工業高等学校

バスケットボール部

令和七年八月三十一日、学校で地域の広域避難所運営訓練と部の公式戦で多くの来場者があり交通渋滞を起こしていた中で、自分たちの試合準備を中断して交通整理を率先して行い、駐車スペースへの誘導や来校者への状況説明などを行い、円滑な行事の進行につなげた。

静岡県立御殿場南高等学校

学校紹介

本校は、建学の精神「鍾駿」に基づき、昭和三十八年に創立されました。「心は広く豊かに志は高く大きく日々の努力を惜しまない」を校訓に掲げ、生徒一人ひとりが勉学・部活動・行事に主体的に取り組み、リーダーシップを育んでいます。

授業では対話的な学びが行われ、キャリア教育「Cプロジェクト」など独自の取組を通じて、進路や社会を見据えた学びを実現しています。鍾駿祭では生徒主体で企画・運営を行い、協働の力を発揮しています。

地域に貢献する学校を目指し、生徒会や部活動によるボランティア活動も積極的に展開。教職員と生徒が一体となり、「知・徳・体」に優れた人間の育成に日々努めています。

校長　渡辺　洋介

PTA紹介

御殿場南高校のPTAは、学校と保護者が力を合わせ、生徒の健やかな学校生活を支える事を大切に活動しています。

支部には支部長と副支部長が在籍し、それぞれが連携しながら学校行事や地域とのつながりを深めています。

今年度は、文化祭「鍾駿祭」にて写真展とフードバンク活動を行い多くの方々にご協力いただきました。

また、校内環境整備の一環として、学校職員や保護者と共に校内清掃を実施し、生徒が気持ちよく学べる環境づくりを進めています。

今後は、登下校時の交通安全指導やマラソン大会での飲料配布など、生徒を陰で支える活動を予定しています。

規模の大小にかかわらず、一人ひとりの思いを大切にしながら、学校・地域・家庭が一体となって温かい学校づくりを目指していきます。

PTA会長　志垣　実

静岡県立清流館高等学校

学校紹介

静岡県立清流館高等学校は、平成二十六年に開校した、普通科と福祉科を有する全日制高校です。大井川の清らかな流れにちなみ、生徒が夢と希望を持って集い、地域に根差して成長してほしいという願いが、この校名に込められています。

創立以来、「成長する人」「共生する人」「有為の人」の育成を教育目標として掲げ、普通科では基礎基本を大切にした授業を行い、進学希望者には特進クラスを設けて、国公立大学や難関私大を目指す学びを展開しています。福祉科では実践的な学習を積み重ね、介護福祉士国家資格試験で八年連続合格率一〇〇パーセントを達成しております。さらに、今年度は、全国高校生介護技術コンテストへの出場や、全国福祉高等学校生徒体験発表で優良賞を受賞するなど、全国的に高い評価を得ています。

生徒は、地域や社会に貢献できる力を磨き、各教室に掲げられた「愛される、応援される清流館」の言葉のもと、仲間と励まし合いながら未来への歩みを進めています。こうした日々を支えてくださる保護者や地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

校長　山梨　祥子

PTA紹介

本校のPTA活動は、十四名の本部役員と三つの委員会（生活指導・広報・教養）を中心に、三十一名の理事が学年ごとに所属して行われています。生活指導委員会は朝の挨拶運動を通じて、生徒が気持ちよく一日を始められるよう支援し、安心・安全な学校生活の環境づくりに努めています。広報委員会は面接指導などを通じて進路支援に力を入れ、地域の大人の視点からの助言が生徒の自信につながるよう心がけています。教養委員会は文化祭での食品販売などを通じて学校行事を盛り上げ、生徒・保護者・地域が一体となって楽しめる場づくりを目指しています。これらの活動に加え、PTA研修会や他の学校行事への協力など、教育活動を幅広く支えています。本部役員は総会や理事会の運営、学校との連携を担い、保護者の声を届ける役割も果たしています。また、PTA公式SNSでは活動の様子を写真やコメントで発信し、保護者にとって身近な存在となるよう工夫しています。

今後も、生徒一人ひとりに寄り添い、保護者とともに成長を支えるPTAを目指してまいります。

PTA会長　高橋　七奈子

静岡県立浜松西高等学校・中等部

学校紹介

浜松西高校は令和六年度に学校創立百周年を迎えた、浜松の地に根差した伝統校です。平成十四年に設置された中等部とともに、県西部唯一の公立の中高一貫校として、校訓である「知・仁・勇」の理念のもと教育活動を展開しています。

本校には開校以来、文武両道の伝統があり、ノーベル物理学賞を受賞した天野浩さんやオリンピック女子柔道で銀メダルを獲得した溝口紀子さんなど、これまで幾多の有為な人材を世に輩出して参りました。現在は、中等部からの四クラスの内部進学者と高校からの二クラスの入学者が綺麗に化学反応することでアカデミックかつ活発な校風を醸し出しています。また校地のある小高い丘は「西山台」と呼ばれ、南に遠州灘、北に引佐の山々を見晴らすことができる素晴らしい立地です。この恵まれた環境の中で日々勉学や部活動に励む生徒たちに宿る、不屈の精神は「西山魂」とよばれ、代々の西高生に大事にされています。

校長　中村　泰子

PTA紹介

本校は中高一貫校としてPTAとしても一体となり、生徒や学校の健やかな活動に寄り添っていけるよう取り組んでいます。PTA組織として、「広報・進路総学・交流・生活」の四つの専門委員会を中心に活動しています。広報委員会は、文化祭や体育祭など学校行事の様子を「西風ブログ」で発信し、年度初めには先生紹介号も発行しています。進路総学委員会では、卒業生保護者との座談会や進路講演会を通じて、保護者の学びの場も設けています。交流委員会は、地域社会人による授業を企画し、生徒の視野を広げています。生活委員会は、あいさつ運動や行事のDVD制作を通して、学校の様子を家庭に伝えています。また、百周年を迎えた本校の伝統を大切にしながら、保護者も生徒や学校と共に歩むPTA活動を心がけています。

PTA会長　原田　健一郎

静岡県立天竜特別支援学校

学校紹介

本校は、昭和三十年に赤佐小・中学校天竜壮分校として開校。その後、天竜養護学校、天竜特別支援学校と名称を変更し、令和七年度に創立七十周年を迎えました。隣接する国立病院機構天竜病院で心身症等精神疾患や重症心身障害の継続的な治療を受けながら学ぶ県内唯一の病弱特別支援学校です。この地域は、「天竜病院の医療(Medication)」「天竜特別支援学校の教育（Education）」「天竜厚生会の福祉（Welfare）」の頭文字をとって、「MEW（みゅう）の丘」という愛称で三者の特徴や強みを活かして、イベントの開催、防災訓練、就労や実習など三者連携の取り組みを行っています。

本校の教育目標は、『豊かな〝心・学び・未来〟』です。この目標は「心も体も健康で、進んで学び、自分の良さや周りの人の良さを知り、社会の中で心豊かに生きようとする人を目指す」という願いが込められています。

豊かな自然に囲まれた天竜の地で、子どもたちが安心して学び成長できる学校、子どもたちの笑顔あふれる学校を目指していきます。

校長　湯本　健治

PTA紹介

本校は小規模な学校であることからPTAも少人数ではありますが、本部役員が中心となり文化環境委員会・進路研修委員会という二つの委員会での活動をしています。

文化環境委員会では、例年校内の除草作業や、花いっぱい事業という花壇への苗植えを行う活動をしています。

今年度進路研修委員会では、保護者座談会や企業見学会を行いました。座談会では保護者だけでなく先生方も交えて皆に聞いてみたいことや悩んでいることなどをざっくばらんに話し合い、保護者同士の交流ができた良い機会となりました。

企業見学会では、希望する保護者が卒業生の就職している企業へ伺い、実際に働いている様子を見学させていただきました。

小規模なPTAのためできることは限られるかもしれませんが、今後も子どもたちの学校生活を支え、保護者の交流を深めていくための活動を進めていきたいと思います。

PTA会長　宮地　夏紀

「社会総がかりの教育の推進」

静岡県教育委員会　社会教育課

【魅力あふれ価値あるＰＴＡへ】

ＰＴＡの活動は、単なる学校行事のお手伝いに留まりません。例えば、「こどもたちの健やかな成長をサポートする組織」として、保護者自身の多様な体験や仲間とのつながりを生み出し、学校と家庭、地域のより良い関係を築いています。進路指導の充実を図る講習会や、ＡＥＤ整備、部活動等の環境整備など、各校の実情に応じた具体的で価値ある活動も数多く行われています。また、「保護者の声を教育委員会に届ける活動」や、さらに、（一財）静岡県安全振興会と連携し、ＰＴＡ会員の皆さまを対象に、スケールメリットを活かした安全共済など、こどもたちの安全・安心な環境をつくる事業も展開されています。

皆様の活動一つひとつが、県内のこどもたちの学校生活を支える大きな力となっています。県教育委員会としては、今後も、「無理なく、できる人が、できるときに」を基本に、学校と協力し、その地域・学校にとって必要な活動を展開していただければと考えています。

【地域ぐるみの教育の推進】

ＰＴＡの活動を経験した多くの方々が、「地域学校協働活動推進員」や「家庭教育支援員」として、学校・家庭・地域をつなぎ、地域の教育活動の中心となり、未来を担うこどもの成長を支援する人材として活躍しています。子育ての経験や得意分野のスキルを生かし、地域で行われる様々な活動に参加していただける方を募集しています。

○地域学校協働活動

ＰＴＡ、地域の高齢者、ＮＰＯ、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体でこどもたちの学びや成長を支えるために、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を目指して、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進に取り組んでいます。授業や部活動、キャリア教育等の地域による支援やこどもたちの地域行事への参画などを促進しています。地域で育ったこどもが、地域のこどもを育てる人材となる「教育の循環」が生まれています。

○家庭教育の支援

すべての保護者が安心して家庭教育を行えるよう、地域で家庭教育を支援する「家庭教育支援員」や「家庭教育支援チーム」により、学校や地域と連携した支援活動を推進しています。

静岡県家庭教育実態調査では、こどものスマホやネットの利用に関して不安を感じている保護者が多いことがわかりました。安全なネットの利用方法や、ネット使用時のルール作りの大切さを伝える「スマホルールアドバイザー」の養成を行っており、令和６年度は１万人以上に啓発活動を行いました。

県教育委員会は、ＰＴＡの皆様と県とがより一層協力し、こどもたちの未来のために協働していきたいと考えています。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いします。

「進学時の支援制度について」

静岡県　企画部　総合教育課

お子様の大学や専門学校への進学を検討する際、学費や生活費についての不安を感じている方も多いのではないでしょうか。進学に際しては経済的な負担が大きくなることもありますので、利用できる支援制度を知っておくことが大切です。

まず、「高等教育修学支援新制度」です。この制度には「給付型奨学金」と「授業料減免」の２つがあります。それぞれ、世帯の所得状況や進学先により支給額が異なります。なお、扶養する子どもが３人以上の世帯は、所得に関係なく授業料減免の対象となります。

申込みは、高校３年生の７月末までに、在籍する高校を通じて予約申込みができますので、早めに高校に相談してください。なお、予約申込みをしなかった場合でも、進学後に申し込むことができます。

制度の詳しい内容や、御自身の世帯収入の状況で支給対象となるかなどは、文部科学省の修学支援新制度公式ＬＩＮＥに登録することで簡単に確認することができます。

公式LINE
登録はこちらから

次に、日本学生支援機構（ＪＡＳＳＯ）の奨学金です。ＪＡＳＳＯの奨学金には「給付型」と「貸与型」の２種類があります。給付型奨学金は、経済的な理由で困難を抱える学生に提供され、返済は不要です。一方、貸与型奨学金は、卒業後に返済が必要ですが、世帯の所得状況や修学状況などにより、無利子で借りられる場合もあります。

JASSO奨学金
はこちらから

これらの奨学金も、高校３年生の７月末までに、在籍する高校を通じて予約申込みをするか、進学後に申し込みます。

このほか、大学や専門学校独自の奨学金、そして行政や各種団体等が実施する奨学金制度もあります。こうした情報は進学先の学生窓口等で確認できます。

例えば静岡県では医師や看護師など特定の職業を希望する学生を対象にした奨学金制度があります。こうした制度の詳細は、県ＨＰを御確認ください。

また、教育ローンの利用も考えられます。国（日本政策金融公庫）の教育ローンは、低金利で進学資金を借りることができます。

奨学金や各種支援制度は毎年見直されるため、最新の情報を入手することが大切です。不安や疑問がある場合は、早めに学校や各種窓口に相談することをお勧めします。

保護者の皆様におかれましては、情報をしっかりと集め、進学に向けた準備を進めていただければ幸いです。

医学修学研修資金
制度はこちらから

看護学生向けの
制度はこちらから

一般財団法人「静岡県高等学校安全振興会」 事業紹介

本会は、県高Ｐ連と連携し、ＰＴＡ会員の皆様を対象とした共済給付事業や賠償責任補償事業を実施しています（左表参照）。お一人あたりの会費（年額）は以下のとおりです。

○高等学校
全日制一，五二〇円　定時制七九〇円
通信制二一〇円　中学校四六〇円
○特別支援学校
幼稚部二一〇円　小学部中学部四六〇円
高等部一，五二〇円

【共済給付事業】

◇給付の概要

種　類	内　容・金　額
傷病見舞金	スポーツ振興センターの同一傷病に係る給付額の合計が５万円以上のものについて、その２割の額
障害見舞金	スポーツ振興センターが給付する障害見舞金の６割の額（最大2,400万円）
死亡見舞金	スポーツ振興センターが給付する死亡見舞金の６割の額（最大1,800万円）
香　料	負傷、疾病等により児童生徒等が死亡した場合一律10万円
歯科補綴特別見舞金	学校の管理下における災害により歯科補綴を加えたもので障害見舞金の対象とならない場合歯科補綴１本につき４万円（最大８万円）
特別給付金	学校の管理下における災害でスポーツ振興センターの給付の対象とならず、理事会で給付が決定されたものについて理事会で決定された額

◇給付実績（令和６年度）

種　類	件　数	金　額
傷病見舞金	662件	14,051,640円
障害見舞金	５件	26,112,000円
香　料	18件	1,800,000円
歯科補綴特別見舞金	７件	400,000円
計	692件	42,363,640円

※死亡見舞金と特別給付金については、給付実績なし

【賠償責任補償事業】

種　類	補償の範囲・支払限度額
児童生徒賠償責任補償	国内におけるＰＴＡ会員の児童・生徒等の行為に起因する損害賠償 対人・対物：１事故１億円
管理者賠償責任補償	国内におけるＰＴＡ管理下での活動の遂行に起因する損害賠償 対人：１名５千万円、１事故５億円 対物：１事故５千万円

※引受保険会社：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
※保険適用の可否は、引受保険会社が判断します。

令和８年度　第75回全国高Ｐ連大会「大分大会」

【大会テーマ】
「湯ごころ 真ごころ 親ごころ～輝く未来を切り開け～」
【大会日程】現地参加・リモート参加併用
令和８年８月20日（木）
　開会行事・基調講演・パネルディスカッションなど
令和８年８月21日（金）
　表彰式・記念講演・閉会式など
　講師　内川 聖一氏「夢が導く諦めない気持ち」
【全体会】　別府国際コンベンションセンター（ビーコンプラザ）
【分科会】　上記会場他３会場
　第１分科会　「ＰＴＡの役割と未来」
　第２分科会　「大学入試と非認知能力」
　第３分科会　「ダイバーシティの力」
　第４分科会　「災害から護る力」
　第５分科会　「不登校は心のメンテナンス！」
【参加費】8,000円（リモート参加校7,000円）

※静岡県高Ｐ連では、大会前日に現地に入る２泊３日の「静岡県独自ツアー」を企画する予定です。詳細については、５月以降に加盟校に連絡します。
※静岡県情報交換会は、大会前日（８月19日）開催予定です。バスで各分科会場と往復するツアーを検討しています。

令和８年度（2026年度）　静岡県公立高等学校ＰＴＡ連合会　年間計画（予定）

期　日	時程（予定）	曜	静岡県高Ｐ連　事業	会　場
５月14日	10：30～11：30	木	会計監査（令和７年度県高Ｐ連監事）	県教育会館
	13：00～14：30		第１回理事会（令和７年度県高Ｐ連理事監事）	
	14：30～15：00		被表彰者選考委員会	
６月２日	13：30～16：40	火	総会・表彰・研修会・情報交換会	ホテルグランヒルズ静岡
8月19日(前泊)	18：30～20：30	水	第75回全国高等学校PTA連合会大会大分大会　静岡県情報交換会	（未定）
10月14日	13：30～14：30	水	高校生善行表彰選考委員会	県教育会館
２月５日	13：30～16：10	金	第２回理事会・特別委員会（令和８年度県高Ｐ連理事監事）	（未定）
期　日	時　程	曜	東海地区高Ｐ連　事業	会　場
６月17日	11：00～11：40	水	総会	刈谷市生涯学習センター(研修室)
	13：00～16：00		東海地区高Ｐ連　愛知大会	刈谷市民ホール（大ホール）
期　日	時　程	曜	全国高Ｐ連　事業	会　場
８月20日	13：30～16：45	木	全国高Ｐ連大分大会　大会第１日　開会行事・分科会	別府国際コンベンションセンター他
８月21日	9　：30～12：30	金	全国高Ｐ連大分大会　大会第２日　表彰式・記念講演・閉会式	別府国際コンベンションセンター他

令和９年度　第76回全国高等学校ＰＴＡ連合会大会東京大会　８月19日（木）・20日（金）予定
（2027年）

令和８年１月15日発行　第151号
静岡県公立高等学校PTA連合会事務局　〒420-0853 静岡市葵区追手町３番11号 しずおか焼津信用金庫追手町ビル６階　電話（054）255-4678
印刷　文光堂印刷株式会社　〒421-0303 静岡県沼津市西間門68-1　電話（055）926-2800　発行部数　9,910部
Shizuoka Public High School PTA